委員会の審査から

今定例会の常任委員会では、本会議から付託された議案及び陳情と、継続審査となっていた陳情の審査が９月７日、10日、11日の３日間、建設環境・市民厚生・総務文教委員会の順で行なわれました。

また、議会運営委員会は、本会議の議事日程や議案の取り扱い、議会だよりの編集等で６回行なわれました。それから、横田基地対策特別委員会、災害に強いまちづくり特別委員会が９月25日に行なわれました。

ここでは、各常任委員会及び各特別委員会から報告された主な審査概要をまとめました。

建設環境委員会

9月7日に委員会が開催され、開会後、10月21日から供用開始となる市道路線（牛浜駅自由通路）を視察し、その後、議案5件と陳情1件を審査しました。主な内容は次のとおりです。

◎福生市下水道事業基金条例

問　「円滑な運営に要する資金に充当するため」という、条例第1条についての具体的な説明を。

答　この基金は、今後30年間、老朽化した汚水管渠の改築、入れ替え等、下水道施設の維持管理に充当するため、今後予想される事業約16億円の不足分を補う目的の基金である。

▲牛浜駅自由通路を視察（H24.9.7）

◎平成24年度福生市一般会計補正予算（第2号）（歳出予算うち建設環境委員会所管分）

問　光熱水費は、毎年度当初に前払いし、次年度の4月に精算するが今回、1280万円の補正を行ない、来年4月に精算するのか。

答　昨年度の実績に今年度の燃料調整額並びに9月からの電気料の値上がり分を加味した形で算定しており、基本的には調整額は出ない金額である。

◎平成24年度福生市下水道事業会計補正予算（第1号）

問　約1億7千万円の繰越金を基金に繰り入れるとのことだが、福生市の下水道料金の単価は、都内26市中何番目になるか。

答　都内では単価の低いほうから3番目、全国では4番目の安さになる。

◎平成23年度福生市下水道事業会計決算認定について

問　横田基地内の下水道使用料が大幅に伸びた理由について。

答　1万立方メートルを超える下水道使用料の立方メートル単価を290円から335円への改定と汚水排出量も前年度比で約28％増え、約2億7千万円の増収となった。

◎市道路線の認定について

問　長年の懸案であった牛浜駅全面改修による自由通路に、ネーミングする考えはないか

答　今後、いろいろ検討させて頂きたい。

以上、議案はすべて原案の通り可決・認定され、陳情は継続審査となりました。

市民厚生委員会

9月10日に委員会が開催され、議案6件と陳情1件を審査しました。主な内容は次のとおりです。

◎平成24年度福生市一般会計補正予算（第2号）（歳出予算のうち市民厚生委員会所管分）

問　幼稚園型の認定こども園の特徴と定員、近隣での認定こども園数は。

答　特徴は、幼稚園部での受け入れが主で、定員57名。近隣では瑞穂町1園、羽村市に3園ある。

▲元気に遊ぶこどもたち

◎平成24年度福生市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

問　今回補正するその他一般会計繰入金に国庫支出金精算返還金も含んでいるのか。

答　国庫支出金精算返還金の財源が無いことから、繰入金を追加した。

◎平成24年度福生市介護保険特別会計補正予算（第1号）

問　介護給付費準備基金を繰り入れてまで、一般会計繰出金として他会計に繰り出す理由は。

答　介護保険特別会計は3年間を1期間として運営、平成21年度と平成22年度に積み立てた介護給付費準備基金は、介護保険特別会計が不足した場合、繰り入れて精算するルールとなっている。

◎平成23年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

問　国民健康保険税収納努力の内容、重複・頻回受診者訪問指導委託料の内容と効果は。

答　再任用や嘱託職員を配置し、窓口体制の強化を図り、財産調査や差し押さえ等に力を入れた。重複・頻回受診者等訪問指導委託料は、同じ月に同じ病気で複数の病院にかかった方、同じ月に同じ病気で何回もかかった方を抽出し、適正受診について訪問指導を実施した。

◎平成23年度福生市介護保険特別会計決算認定について

問　筋力向上トレーニング委託費、口腔機能向上指導委託費、低栄養改善指導委託費、介護予防普及啓発事業費の効果は。

答　筋力向上トレーニングを受けた方が介護を受けずに、翌年も筋力向上トレーニングを続けており、効果は上がっている。

◎平成23年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について

問　温泉施設利用助成事業の利用が増えている。市民への周知努力をどのように行なったか。

答　年1回の健康診査案内に温泉事業のパンフレットを入れ周知を図った。

以上6件、いずれも原案のとおり可決しました。陳情1件についても意見が出され採択されました。

総務文教委員会

9月11日に委員会が開催され、議案4件と陳情1件を審査しました。

◎福生市防災会議条例の一部を改正する条例

問　所掌事務の改正、詳細は。また、なぜ防災会議に自衛隊が必要なのか。

答　情報収集を災害対策本部に一元化し、諮問機関としての機能を追加。自衛隊は、多くの災害で救助等の経験があり情報、知識を活かしたいため。

◎福生市災害対策本部条例の一部を改正する条例

問　文言整理の根拠は。

答　公文規定により、常用漢字表に基づく漢字を使うため、条例改正時に文言を整理する。

▲今年度の総合防災訓練の様子

◎福生市職員の自己啓発等休業に関する条例

問　国際貢献の期間について詳細、延長の事例は。

答　国家公務員の自己啓発等休業等に関する法律があり、準拠している。延長は、現地からの要請等、独立行政法人国際協力機構から要請が来た場合が考えられる。

◎平成24年度福生市一般会計補正予算（第2号）（歳入予算全般及び歳出予算のうち総務文教委員会所管分）

問　緊急雇用創出事業臨時特例補助金を活用した事業に対する監査委員からの指摘について、どのように対応したか。

答　今回の補正予算で実施する事業は、策定委員会で採択した後であったため、反映されていない。指摘については真摯に受け止め今後注意していく。

問　児童・生徒のための健全育成に係る研究事業の内容は。

答　東京都教育委員会から指定を受け、児童・生徒の不登校、いじめ、暴力行為等の問題行動に対して、保護者との連携を図り、学校における組織的な対応を充実させ、児童・生徒・保護者からの相談等に応ずる、外部人材の活用に向けての研究を行なうことを目的とし、対象校は、第一小学校と第四小学校の2校。

以上4件、原案のとおり可決し、陳情1件を不採択としました。

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が閉会中も含め6回開催されました。